

□には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 蔵の家
日付	平成19年3月31日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス ■ 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）	

外部評価の結果

概評
全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)
入居者が自立して自由に暮らしている様子が見られました。例えば、居間の雰囲気はソファ、テーブル、畳みの部屋と3ヶ所に設けているので、好きなところで入居者がくつろぐ事が出来て、入居者の様々な認知レベルに合わせて寛げるので、自分にあったリズムや可能な事ができる暮らしぶりがみえました。 職員は車イスの生活にならないようにと、トイレなど手引きで歩くように誘導していました。食事に関しても、自分で食べられる入居者には時間がかかっても手伝うことはせず、言葉かけをしながら、円滑にできるよう見守りに徹していました。
改善の余地があると思われる点(記述式)
職員が介護の為、居間に誰もいない時間帯がありました。職員一人一人は気配りをしているのですが、連絡に少し問題があるようです。職員間の声かけが必要でしょう。
介助に追われているせいか、職員は言葉かけが否定的な言い方になったり、少し落ち着かない状態にもなったりして、とかく仕事に同一視になりがちです。職員の配置や起用などの気配りで改善を図ってはいかがでしょうか。
風呂の浴槽に居間の椅子があり、水分を吸って危険な状態に感じます。再度スタッフ全員で考慮してはいかがでしょうか。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目 記述 回答	グループホームとしてめざしているものは何か (記述式で回答) 「こころゆたかに、すこやかに」を理念に掲げています。入居者には家での生活と同じように暮らしてもらうため、QOLの工場を目指していきたいと思っています。入居者には出来ることは自分でやってもらい、やりたいことをしてもらっています。一日の終わりに、また明日が待ち遠しくなるような、そんな暮らしを支援して行きたいと考えています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居間の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目 記述 回答	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か (記述式で回答) ・徘徊が多い入居者には集中できることをしてもらい、出来るだけ本人が興味を示すことを見つけています。 また職員はゆっくりと行動するようにしています。 ・外に出たい入居者がいる時には一緒に出かけます。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重		○
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		○
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	ブライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目 記述 回答	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か (記述式で回答) 編み物をしたり、新聞を読んだり、ピアノを弾いたりして、入居者が出来ることをしてもらっています。花を生ける方もいます。また居室での着替えや排泄時、扉に、目隠しをして室内をのぞかれないようにしています。入居者には、個々の出来る事を職員が手助けすることで、自信に満ちた生活を送ってもらっています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目 記述 回答	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 ・居室や居間での転倒をきっかけに、布団に鈴を付けて夜間の動きを把握できるようにしたり、居間で新聞を読む時には椅子に深く座ってもらい、新聞をテーブルの上に置くようにしたりと改善しました。 ・職員の入れ替わりがあったので、職員と入居者との関わり合いを多く持てるように日々努力しています。		